

只見線復旧応援で俳優・渡辺謙さんが来町

10月26日、2011(平成23)年の新潟・福島豪雨で一部区間が不通となっていたJRR只見線で、復旧応援ツアー列車が運行されました。新潟県魚沼市出身の俳優・渡辺謙さんもゲスト参加



▲地域住民と一緒に記念撮影した渡辺謙さん(中央)



▲只見線の説明を受ける渡辺さん

高校時代に只見線を利用したという渡辺さんは「只見線の復旧は地方がつながるシンボルになる。良い意味でもっと豪雪をPRして集客するのもおもしろいと思います」と話していました。

し、只見駅で地域住民と交流しました。

これは、只見線の魅力や復旧に向けた取り組みを発信するため、魚沼市の魚沼青年会議所が企画したもので、当日はツアー客約30名を乗せた列車が小出駅と只見駅を往復し、只見駅では只見保育所園児や町民など約50名が「ようこそ自然首都・只見」という横断幕を持って歓迎しました。

只見駅に降りた渡辺さんは地域住民と交流し、只見駅前広場では菅家町長から只見線の復旧状況などの説明を受けました。振る舞われた甘酒を味わい、町内の旅館ではツアー客と共に郷土料理を楽しみました。

朝日小、明和小PTA、只見町学校給食センターが受賞報告

11月2日、時事通信社の「第33回教育奨励賞」で優良賞に選ばれた朝日小学校の小林義弘校長、県教育委員会が主催する「平成30年度教育・文化関係表彰」で表彰された明和小学校PTAの印南正和会長と穴澤正志校長、只見町学校給食センターの三津間恵さんが役場を訪れ、菅家町長にそれぞれ受賞報告しました。

時事通信社の「教育奨励賞」は、創造性に富み特色ある教育で顕著な成果を上げた学校を称えています。今回の朝日小は、2013(平成25)年か



▲上段の菅家町長、橋本副町長、渡部教育長に受賞報告した下段手前から三津間さん、小林校長、印南会長、穴澤校長

ら実践する地域の将来の担い手育成に向けた「只見愛」教育の取り組みが評価されました。ふるさと教育「只見学」を中心に、地域住民を「先生」として招いた学習や、町の現状を調べて対策などを提言する学習などを行い、只見を深く学び、将来町のために活躍する人材育成に励んでいます。

また、県教委の「教育・文化関係表彰」では、明和小学校PTAが「社会教育功績顕著な団体」、只見町学校給食センターが「功績顕著な施設」として表彰されました。明和小PTA

は、様々な事業をとおして地域や学校と連携し、長年にわたる子どもたちの育成に大きく貢献された功績が認められました。学校給食センターは、地域の食材を活用した地産地消や食育推進など多年にわたり学校給食の普及に尽力した功績が認められました。

それぞれの報告を受けた菅家町長は「明るい話題で大変うれしく、今後も学校行政を支えていただきたい」と話しました。



▲校歌など2曲を披露した只見中全校生による合唱



▲合唱で手話を披露する只見小児童の皆さん。合奏でも「ヤングマン(Y.M.C.A)」の振り付けで会場が一体となりました

美しい歌声と迫力の演奏を披露
「第56回 只見町小中学校音楽祭」開催

11月7日、「第56回只見町小中学校音楽祭」が只見中学校体育館で行われ、保護者や地域住民など約100名が来場しました。
音楽祭は、始めに各小学校の児童2〜4年生（明和小は3〜4年）による合唱と合奏が披露され、各学校

の元気な歌声と表現豊かな演奏に、会場からは大きな拍手が送られていました。続いての只見中学校では、特設合唱部と全校生徒による合唱が披露され、その完成度の高い歌声に、会場は感動に包まれていました。
最後に、会場を訪れた全員による合唱「ビリーブ」が歌いあげられ、会場は大きな一体感に包まれました。

神奈川県海老名市から4名来庁
只見町に402,592円寄付



▲菅家町長(右)に寄付を手渡す櫻井さんご夫妻、水村さん、野澤さん4名の皆さん

10月27日、神奈川県海老名市の慶泉学園さくら幼稚園理事長の櫻井直之さん、さよ子さん夫妻と、水村建築設計事務所の水村好男さん、野澤工務店の野澤春夫さんの4名が役場を訪れ、只見町に402,592円を寄付されました。4名の方々は只見町のファンで、今回の寄付は櫻井さんが運営する幼稚園などで募金を呼びかけたものです。
寄付では、4名の方々から菅家町長に寄付金が手渡され、櫻井さんが「町の発展に役立ててほしい」と話され、菅家町長が「大事に使わせていただきます」とお礼の言葉を述べました。

日本赤十字社の献血団体表彰
功績称え町内企業の2社が受賞



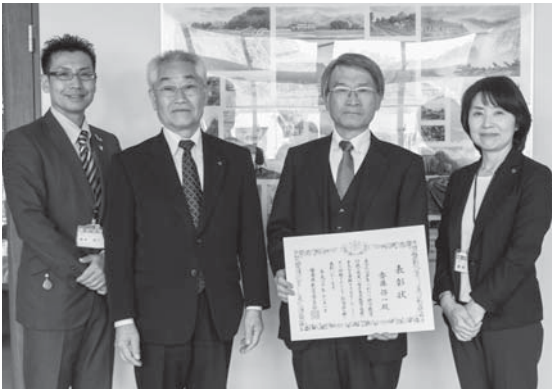
▲一ノ渡所長から「金色有功章」を受けるティーエヌアイ工業の田村副工場長

11月1日、日本赤十字社福島県支部が主催する「平成30年度献血団体並びに献血推進団体表彰」で、県赤十字血液センター会津出張所の一ノ渡俊也所長から町内企業のティーエヌアイ工業(株)会津工場、(株)会津工場の2社へ表彰状が伝達されました。
これは、多年にわたる献血への貢献に対し、その功績を称えるもので、ティーエヌアイ工業は「金色有功章」、会津工場へは「支部長感謝状」が手渡されました。今年度、南会津郡内では町内の2社のみが表彰され、両社とも「今後も献血活動に協力していきたい」と話していました。

県教委「教育・文化関係表彰」

齋藤修二前教育長が受賞報告

11月5日、県教育委員会が主催する「平成30年度教育・文化関係表彰式」で、「地方教育行政功労者」として表彰された齋藤修二前只見町教育長が役場を訪れ、菅家町長に受賞報告しました。齋藤前教育長は、2009（平成21）年12月1日から2期8年にわたり、教育長として町の教育行政を担ってきました。これまで「人材育成ダイヤモンドプラン事業」や「ユネスコスクール」の推進など数々の事業に取り組み、今回その功績が認められました。報告では、齋藤前教育長がこれまでの活動を振り返り、菅家町長がその功績を称えました。



▲菅家町長、橋本副町長、渡部教育長に報告した齋藤前教育長(中右)

香り豊かな新そばを堪能

「只見新そばまつり」開催

11月11日、季の郷湯ら里が主催する「第26回只見新そばまつり」が同施設で開かれ、町内外から約120名が参加しました。

会場では、「新そば」の冷たい盛りそばや温かい田舎そばが味わえたほか、野菜の天ぷらなども提供されました。さらには、湯ら里宿泊券やお持ち帰り用の新そばなどが当たる抽選会も行われ、菅家町長から当選者に景品が手渡されました。会津美里町から訪れた参加者は「美味しいそばを味わっています」と話し、新潟市からお越しの参加者も「そばの香りが高く美味しい」と新そばを堪能していました。



▲笑顔で只見産の新そばを味わう参加者の皆さん

華麗な舞や美しい歌声を披露

只見町文化協会「芸能発表会」

11月11日、文化祭事業の一環として「第23回芸能発表会」が季の郷湯ら里で開かれました。

この発表会は町文化協会が主催しているもので、宝生流只見謡曲研究会松楓会、はぎの会、只見音楽研究会、只見つくし会、只見民謡会、蒲生花輪踊り保存会、瞳の会、コーラスはなみずき、天領只見仙嶽太鼓保存会の9団体の方々が出演し、華やかな舞踊や迫力のある演奏などを披露しました。

また、発表会では飯塚恒夫前会長と山内幸三前事務局長に対する感謝状贈呈が行われ、齋藤修二会長からそれぞれに手渡されました。



▲力強い太鼓を披露した天領只見仙嶽太鼓保存会の皆さん

只見の素材を活かす人材育成

ダイヤモンドプラン第4回講座

11月16日、教育委員会の人材育成ダイヤモンドプラン事業・第10期生の講座が只見振興センターで開かれ、一般公開された第5回講座に受講生など約10名が参加しました。西会津高校の車魅ラスクプロジェクトをはじめ、全国の学生の産業起こしをプロデュースしてきた、i・c・u・b代表理事の小川悠さんを講師に迎え、「高校生がつくる只見の産業」をテーマに行われました。

講座では、地域の素材を活かした産業起こしや、商品・サービスの開発について話され、参加者は素材活用についての考えを学んでいました。



▲講師の小川さんより素材を活かすヒントを学んだ第5回講座

JR只見線の復旧・復興のために
三瓶政夫理事長が只見町へ寄付

11月19日、只見町商業振興協同組合の三瓶政夫理事長が役場を訪れ、JR只見線の復旧・復興への募金活動として只見町に58,613円を寄付されました。

これは、11月17日に同組合が民謡や歌謡ショー、カラオケ大会などを楽しむ「会津小町歌謡ショー」を開催し、その中で募金活動を行ったものです。

寄付では、三瓶理事長が「これから始まる只見線の上下分離方式の運営に役立ててもらいたい」と寄付金を菅家町長に手渡し、菅家町長は「ありがたい活用させていただきまます」とお礼の言葉を述べました。



▲菅家町長(右)に寄付金を手渡した三瓶政夫理事長(左)

今年で8回目の開催
まるごと南会津観光PRフェア

11月17、18日、東京の上野恩賜公園で「まるごと南会津観光PRフェア」が開催され、多くの来場者で賑わいました。これは、南会津4町村などで行く「南会津着地型観光推進協議会」の主催で、只見町からはヤマサ商店、マドンケバブカフェ、只見町観光まちづくり協会などが参加し、観光PRや特産品を販売しました。

開会式では、橋本副町長がJR只見線を宣伝し、ステージでは小林早乙女保存会による早乙女踊りなどが披露されました。また、今年から訪日外国人向けブースが新たに設けられ、多くの方々に魅力を発信しました。



▲多くの来場者の前で披露する小林早乙女保存会の皆さん

福島県・只見町・食改が連携
留学生の健康づくり講話を開催

11月20日、只見高校に通う山村教育留学生の寮・奥会津学習センターで「留学生のための健康づくり講話」が行われました。これは、親元から離れて暮らす留学生の健康づくりの増進や進学などで一人暮らしになった際の健康知識向上を目指したもので、県と町、只見町食生活改善推進員会4名が連携し実施しました。

講話では、朝食の重要性や減塩などについて説明し、試食として「塩レモン焼きそば」「ふわふわ卵スープ」を提供しました。試食した学生からは「丁度よい味で美味しい」との声が聞かれ、健康への知識を深めていきました。



▲今年で開催2回目、寮の夕食の時間に行われた健康づくり講話

朝日小学校で教育研究を深める
第4回ESD公開授業研究会

11月22日、朝日小学校が主催する「第4回ESD公開授業研究会」が同校で開催され、町内外から教育関係者が参加しました。これは、ユネスコスクール認定5年目を迎えた同校が実践する「只見愛の教育(ESD)」の取り組みを公開し、多くの教育関係者と教育について研究を深めるものです。

公開授業は、1年生の道徳「よいこと、わるいこと」と4年生の社会科「郷土の発展に尽くす」をテーマに行われ、参加者は様々な視点で課題や成果を確認しました。授業終了後には、参加者による意見交換などを行い、教育推進を図りました。



▲「友達が悪いことをしたら」を題材に行った1年生の公開授業